

2021.4.10

福寿草
さざなみ

スプリング

vol.152
(since 1981)



社会福祉法人スプリング 福寿草インスプリング

【事業所案内】

- 従来型特別養護老人ホーム福寿草
- ユニット型特別養護老人ホーム福寿草
- 福寿草デイサービスセンター
- 認知症対応型福寿草デイサービスセンター
- 福寿草居宅介護支援センター
- 福寿草ヘルパーステーション
- 大館・東地区高齢者支援センター福寿草

社会福祉法人 スプリング広報委員会

〒031-0814 八戸市大字妙字西平6の27 TEL.0178-25-1021

🌸 令和3年4月1日よりホームページをリニューアルしました！そちらもご覧ください 🌸
HPアドレス www.fukujuso.or.jp/ メールアドレス fkjs5241@fine.ocn.ne.jp

新年度 理事長 挨拶



理事長 菅原 英保

令和2年12月、特別養護老人ホーム福寿草が八戸市をはじめ建設関係者、地域住民の皆様、関係各位の温かいご理解とご協力を賜り無事完成致しました。ここに関係者各位に衷心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。

社会福祉法人スプリングは、1976年に特別養護老人ホーム福寿草インスプリングを大館・東地区に開設いたしました。発足当時より現在までご利用者一人ひとりの意思を尊重し、その人の立場に立ったサービスを提供してまいりました。

現在、特養老人ホームは人生の終の棲家「長期にわたる生活の場」として明確に位置づけられています。また、ユニット型個室を基準として暮らす様式が推奨され

てきました。

しかし最近都市部では、入所待機者の解消や所得等のために多床室の整備も容認する動きが広まってきています。

そこで、当ホームの新設にあたり2020年7月1日に多床室とユニット型個室を併設いたしました。いずれの環境においても生活の場である特養には、個人の尊厳が保たれるべき暮らしが実在し、自尊心を守り、それらを支える個別ケアが保証されなければなりません。スプリングではご利用者の立場になって物事を捉え、安心・安全なサービスの提供を徹底しています。

私達は新しい施設とともに心機一転、これからも社会福祉法人としての責務を果たし、ご利用者・家族・地域の方々に愛され選ばれたる法人となれるよう、職員一丸となって前進してまいります。今後ともより一層のご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

令和2年度を振り返って

4月、新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言が発令されました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策による三密回避、新しい生活様式の定着等は私達の生活のみならず介護環境にも大きな変化をもたらしました。利用者や家族の皆様にとっても戸惑いの一年であったと思います。

過去の経験が活かされた備蓄

一時期、世界的に深刻なマスク不足が問題になりました。当法人は過去の震災(三陸はるか沖地震)や感染症発生時の経験から衛生用品の備蓄は感染症対策のみならず事業を継続していく上で大変重要な取り組みとして位置づけ長期的に取り組んできました。入手できない状況が続き、不安ではありましたが、防護具の不足という状況に陥ることはありませんでした。現在も、事業継続に関わる様々な側面から備蓄を継続しています。

七月待望の新施設へ引っ越し

利用者にとっては快適な生活環

境であり、利用環境となりました。職員にとっても皆で何度も案を出し合った働きやすい職場が完成。しかし、引っ越し当初は慣れない環境の中で戸惑うことばかりでした。これまでのタイムスケジュールや人員配置等を二回リセットして安全で良質なサービス提供の為、試行錯誤を繰り返し、新しい介護サービス提供体制を構築しました。

この頃には、感染症の取り組みは緊急事態宣言下の特別な取り組みではなく、日常的な介護業務として定着していきました。暑い夏場のマスク着用、生活環境もパーテーションの設置、密を回避する為諸活動や行事の見直しを迫られました。



これまでの介護の見直し

活動については個別のケアにより力を入れました。一人で編み物、書道、テレビ鑑賞等過ごし方も様々です。ノーリフティングケアは移乗時の密着を防ぐことにも繋がりました。オンライン面会も定着しました。ICTの導入は、法人の重点目標でもあり、記録等における業務の効率化を主たる目的に取り組んできましたが、コロナ禍により導入はいつきに促進されました。オンライン研修や会議、見守りロボット等これまで考えてもいなかったことが日常となりました。

職員達の協力

それぞれが職場でも私生活においても徹底した感染症対策を実施しています。ワークライフバランスの推進は、コロナ禍においても法人のブレることのない取り組みですが、高齢者介護に携わる者として自粛や行動制限を自らに課している姿も見受けられます。仕事に対する責任感に感謝すると同時に、個々の事情に応じたサポートについては皆で助け合い、引き続き力を入れ取り組んでいきます。そんな中、うれしい知らせが舞い込んできました。

ノーリフティングケア



遠隔見守りロボット



「遠隔見守りロボットとは…タブレットと連動しており、離れた場所からでも入所者の見守りを行う事が出来ます。」



※詳しくは下記へ掲載



事業継続の重要性

入所施設はたとえ感染症によるクラスターが起こっても事業を止

めるわけにはいきません。いざという時の混乱を少しでも抑え事業を適切に継続できるように危機管理体制を強化し、事業継続計画を見直しました。

- ・いざという時の備えは十分か？
- （衛生用品の備蓄、日々の感染対策、発生時のシミュレーション）
- ・慣れや気の緩みはないか？
- （基本的感染症対策の徹底、反復訓練）

感染したらどうしようと思わずに止めず、感染したらどう乗り切るかを考えておくことで、職員の恐怖や不安を小さくすることが出来るだろうと考えます。

コロナ禍にあっても私達は変わらぬ使命感を持って、利用者サービスの質の向上と職員の満足度向上により「層取り組んで参ります」。

最後になりましたが、利用者並びに家族の皆様の感染症対策に対するご理解とご協力に感謝致します。感染症対策とはいえ、長期に渡る衝立越しやオンラインの面会、在宅サービス利用の方々には問診票への記入、時にはサービス途中の帰宅と大変ご迷惑やご不便をおかけしています。引き続きのご理解とご協力をお願い致します。



昨年、11月20日（金）に厚生労働省主催「イクボスアワード2020」が発表され、ケアプラザ福寿草・大久保友紀子所長が、見事グランプリに輝きました。

イクボスの「イク」は、イクメンなどのイクと同じで、子育ての『育』が基になっています。「ボス」は英語のbossで、上司のことです。つまりイクボスとは、子育てに理解ある上司、子育てしやすい環境を整える上司のことで、自身の仕事と私生活のバランスだけでなく、共に働く部下や同僚の仕事と私生活も考慮して彼らのキャリアと人生を応援しながら、かつ組織としての業績や結果も出せるような経営者や管理者の人々を指します。

受賞の喜び

仕事と育児の両立支援など働きやすい職場づくりへの取り組みが高く評価され、とてもうれしく思います。今後も、利用者の皆様により良いサービスを提供できるように力を合わせて職場を盛り上げていきたいです。 大久保友紀子

高齢者支援センター からのお知らせ

花の芽吹きに春の気配を感じる季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナウイルス感染防止のため外出や人と接する機会が減りましたが、身体や頭の動きの低下につながってしまいます。コロナ禍で高齢者の皆様が健康を維持するために介護予防に取り組んでみませんか？

介護予防は運動・食事・こころの健康を3つの柱として毎日の積み重ねが大切です。



介護予防しよう

適度な運動

毎日少しでも散歩やテレビ体操等の運動を習慣づけましょう。
家事や庭の手入れなど生活の中でこまめに動くようにしましょう。



食事

栄養バランスを考え、3食しっかりと噛んで食べましょう。特に筋肉の元となるたんぱく質(肉・魚卵・大豆製品・乳製品等)をとるようにつとめるようにしましょう。
食後の歯磨きも忘れずに。



心の健康

好きなことを見つけて趣味や楽しみを持ちましょう。
町内の人に会ったらあいさつをするなど地域でのコミュニケーションを大切にしましょう。



介護予防教室の様子

高齢者が住み慣れた地域で元気に安心して暮らし続けるためには、地域全体での支援と自分自身が要介護状態にならないように予防することが大切です。

当支援センターでは65歳以上のどなたでも参加できる「介護予防教室」を地区公民館や生活館で開催しています。一緒に身体を動かして介護予防しましょう。

町内見守りネットワーク

町内見守りネットワークは地域住民が連携して高齢者の見守りを行うことです。

何か気がかりなことを感じたらこの高齢者支援センター福寿草へご連絡下さい。

高齢者の様子を確認し必要に応じて病院や介護保険サービス事業者等の関係機関と連絡を取り合い高齢者に必要な支援やサービスを行います。たとえは…

- 最近、外出している姿を見かけない
 - 郵便物等がたまっている
 - 高齢者を怒鳴る声が聞かれる
 - 服装が不自然なまま外出している
- 小さなことでも気が付いたらすぐにご連絡下さい。

大館・東地区
高齢者支援センター福寿草
031-0814
八戸市大字妙字西平6-27
☎ 38-7612

ご相談は無料です
プライバシーは厳守します

